

平成 30 年 9 月 7 日現在

機関番号：13901

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2014～2017

課題番号：26770132

研究課題名(和文)貸本屋大惣と近世名古屋の読書文化史

研究課題名(英文)The Daiso Lending Library and the Reading Culture of Early Modern Nagoya

研究代表者

McGee Dylan (McGee, Dylan)

名古屋大学・人文学研究科・特任准教授

研究者番号：30622568

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,800,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、約6000点の旧大惣本を調査し、その仕入れ、流通、享受の経緯について考察しました。調査の過程で得られた新見資料を基に下記のことが明らかになりました。1) 営業期間中に少なくとも三種類の請求記号を用いること；2) 部類によって営業本の仕立て方が異なること；3) 合巻の場合は、特別な改装表紙を用い、毎年その表紙のデザインが変わること；4) 表紙などの資料をもって仕入れの年度を推定できること；5) 読者の書入れを基に、大惣本の享受態度や貸本屋に対する見方が明らかになる事となります。

研究成果の概要(英文)：This research project entailed an extensive archival survey of nearly 6,000 books that circulated through the Daiso lending library, which operated in Nagoya between 1767 and 1899. On the basis of the material gathered, we are now able to establish a five key facts about the acquisition, organization, and circulation of the Daiso; collection, namely: 1) the Daiso; used at least three distinct bibliographic systems over the course of its history; 2) different genres of books were refitted as rental books in different ways; 3) in the case of gokan in particular, the Daiso; used a special type of protective cover whose design changed from year to year; 4) paratextual material in the refitted Daiso; books enable us to establish a window for dating their acquisition; 5) reader comments and graffiti provide a basis for establishing the reasons behind the library's demise.

研究分野：日本近世文学

キーワード：日本近世文学 近世貸本屋 出版文化 読書文化

1. 研究開始当初の背景

江戸時代最大の規模を誇った大野屋惣八の貸本屋(通称「大惣」)は、江戸後期の出版業、貸本業が興隆しつつあった名古屋において、出版文化消費の中心的位置を占めた。元々酒屋として開業したこの老舗は、薬、化粧品、小間物などの商いで利潤を上げ、それを書物購入の資金として、名古屋を中心に個人及び他の貸本屋から多数の書物を購入した。明治32年の廃業時には、二万冊を超えるほどの膨大な蔵書を所持していたが、その内訳は、大衆文学のみならず、儒教と仏教の古典籍、史書、科学書、絵本図解、評判記、献立書まで多岐にわたり、近世学問と諸般の知識を広く包括するものだった。本研究に至るまで、大惣本は文学史及び書誌学研究の対象とされてきたが、蔵書目録二点以外は営業文書が殆ど現存していないので大惣本の仕入れ、流通、享受などの実体に迫ることが難しい現状でした。そこで本研究は旧大惣本に潜む資料に着目し、調査の課程でより徹底を極めた書誌学的データを収集しました。また近年の読書慣習研究に関する発展に応じて、大惣本に残る読者の反応の物質的痕跡(欄外の傍記、挿絵の落書、登場人物の顔面擦り潰しなど)を含め、大惣本の購求・流通・享受の経緯を包括的かつ徹底的に研究するように試みました。

2. 研究の目的

本研究は、近世名古屋の貸本屋、大野屋惣八の旧蔵書の網羅的調査によって収集する書誌データと資料を基に、大惣本の購求・流通・享受の経緯を出来る限り具体的に再構築し、多岐にわたる知識を提供した大惣本と近世学問・近世日本のソーシャル・メディアとしての貸本業界や東海地方における文化的背景を調査することが目的でした。作業の過程で、収集したデータをデータベースに入力し、今後の研究で活かす情報の基盤を固めま

した。また、大惣本の近世研究にとっての意味と価値を国内・海外の学会や学術誌で発表し、研究成果を発信しました。世界的にまだ無名な歴史的価値の高い大惣本を海外の研究者がより参考にしやすい形にすることがもう一つの目的でした。

3. 研究の方法

主に国会図書館、京都大学附属図書館、早稲田大学中央図書館、筑波大学図書館などを中心に調査を行う課程で、書誌学的情報を収集し、データベース化する作業を進めました。収集した資料の中で、特に表紙、題箋、蔵書印、在庫点検印、いろは符号・函架番号の紙片などの材料に着目し、これらの資料をを基にして、大惣本の仕入れ、所蔵、修復の慣行を巡って考察を進めました。また、読者の書入れや落書きの資料を集めて、名古屋における近世大衆文学の受容の事情をできるかぎり再構築を進めました。

4. 研究成果

本研究は、約6000点の旧大惣本を調査し、その仕入れ、流通、享受の経緯について考察しました。調査の過程で得られた新見資料を基に下記のことが明らかになりました。1) 営業期間中に少なくとも三種類の請求記号システムを導入したこと;2) 部類によって営業本の仕立て方が異なること;3) 合巻の場合は、特別な改装表紙を用い、毎年その表紙のデザインが変わること;4) 多くの場合は表紙などの資料をもって仕入れの年度を推定できること;5) 読者の書入れを基に、大惣本の享受態度や貸本屋に対する見方が明らかになる事となります。

全体的研究業績は学術誌・会議録の論文(5点)、国際研究大会の発表論文(6点)、招聘講演(5点)ということになります。また、著書

執筆が順調にすすみ、昨年の報告書で述べたように平成31年に成稿する予定になっています。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 5 件)

雑誌論文・ダイラン・ミギー 「貸本屋大惣の改装表紙から見る文化・文政・天保期間の合巻の仕入れ状況」第41回国際日本文学研究会集會會議録 (2017), 63-77.

雑誌論文・ダイラン・ミギー “Nagoya Gesaku and the Daisō Lending Library,” Proceedings for AJLS, vol. XXV (2017), 108-120.

雑誌論文・ダイラン・ミギー “An Examination of Daisō Book Refurbishment Practices,” 言語文化論集第37巻1、名古屋大学・国際言語文化研究科 (2016), 63-72.

雑誌論文・ダイラン・ミギー 「平出順益の『代睡漫抄』から窺える大惣本の貸出と享受」言語文化論集第36巻2号、名古屋大学・国際言語文化研究科 (2015), 35-43.

雑誌論文・ダイラン・ミギー “Ex Libris Seals and Labels in the Daisō Rental Books,” 言語文化論集第36巻1号、名古屋大学・国際言語文化研究科 (2014), 157-168.

[学会発表] (計 6 件)

発表論文・ダイラン・ミギー 「貸本屋大惣の改装表紙から見る文化・文政・天保期間の合巻の仕入れ状況」(第41回国際日本文学研究会・平成28年)

発表論文・ダイラン・ミギー “Amateur Gesaku and Hierarchies of Literary Production in Early Modern Nagoya”, 24th Annual Meeting of the Japanese Studies Association, Honolulu, January 5, 2018

発表論文・ダイラン・ミギー “The Dilemma of Local Literature: Nagoya Gesaku Commissioned by the Daisō Lending Library (1767-1899)”, 25th Annual Meeting of the Association for Japanese Literary Studies. Penn State University, October 27-30, 2016.

発表論文・ダイラン・ミギー “Cures for the Common Reader: Advertisements for Cosmetic and Medicinal Products in the Daisō Rental Books,” European Association for Japanese Studies Conference, Kobe University, September 24-25, 2016.

発表論文・ダイラン・ミギー “Mapping the Book Trade in Early Modern Nagoya (1794-1854),” Asian Studies Conference Japan, International Christian University, Tokyo, July 2, 2016.

発表論文・ダイラン・ミギー 「猿猴庵と貸本屋大惣」 (“Enkōan and the Daisō Lending Library”) 韓国日本言語文化学会秋季大会 Korean Conference on Japanese Language and Culture, Korea University, November 7, 2015.

[図書] (計 0 件)

[産業財産権]

○出願状況 (計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：

出願年：
国内外の別：

○取得状況（計 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等
()

6. 研究組織

(1) 研究代表者

ミギー・ディラン 特任准教授
(名古屋大学・人文学研究科)

研究者番号：30622568

(2) 研究分担者

(なし)

研究者番号：

(3) 研究協力者

(なし)